



あっというまに、はねが、うごかなくなっていまい、  
すいこまれるように、<sup>した</sup>下へおちはじめました。  
だが<sup>こ</sup>子どものツルは、みんなに、  
たすけをもとめようとは、おもいませんでした。  
もうすぐだと、よろこんでいる、みんなのよろこびを、  
こわしたくなかったからです。  
だまって、ぐいぐいとおちながら、<sup>ちい</sup>小さなツルは、やが  
て<sup>き</sup>気をうしなっていました。